

| コード         | 名称                        | 区分       | コード       | 名称              |
|-------------|---------------------------|----------|-----------|-----------------|
| 事業名         | 826 阿山給食センター管理運営経費        | 会計       | 01        | 一般会計            |
|             |                           | 款        | 10        | 教育費             |
|             |                           | 項        | 06        | 保健体育費           |
| 基本施策        | 31 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める | 目        | 02        | 学校給食管理費         |
|             |                           | 細目       | 101       | 学校給食管理経費        |
| 行革大綱の重点事項番号 |                           | 6        | 細々目       | 02 給食センター管理運営経費 |
| 担当部課        | コード                       | 451202   | 担当者氏名     | 葛原吉彦            |
|             | 名称                        | 阿山給食センター |           |                 |
|             |                           | 連絡先      | 43 - 1010 | (内線)            |

**事務事業の概要(Plan)**

|           |  |       |     |
|-----------|--|-------|-----|
| 対象(誰を、何を) | 小学校児童、保育所園児  | ※対象件数 | 620 |
| 成果(どうする)  | 安全・安心な給食を提供することにより、心身ともにバランスが取れた体を形成することができる。  |       |     |
| 根拠法令・要綱等  | 学校給食法、伊賀市給食センター設置条例  |       |     |
| 開始年度      | 平成   | 年度    |     |
| 終了年度      | 平成   | 年度    |     |
| 関連事業      |  |       |     |
| H21 事業内容  | 阿山支所管内の小学校児童・教師あわせて401人、保育所園児・保育士合わせて208人、保存食・給食センター職員11人 合計620人に給食を提供する。小学校の給食実施回数 191回、保育所実施回数 214回。 |       |     |
| 社会情勢の変化等  |  |       |     |

|                         |    |                             |                       |
|-------------------------|----|-----------------------------|-----------------------|
| 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入) |    | 運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入) |                       |
| 1 建設用地                  |    | 1 運営主体                      | 直営                    |
| 2 建設面積(延床面積)            |    | 委託先                         |                       |
| 3 規模・構造                 |    | 2 配置人員                      | 10人                   |
| 4 総事業費                  | 千円 | 3 年間運営費                     | 73,255 千円             |
|                         |    | 4 市内の類似施設                   | 大山田給食センター、いがっこ給食センター夢 |

**事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)**

| 活動指標 | 指標名 | 単位 | 実績値 |     | 目標値 |     |     |
|------|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
|      |     |    | H20 | H21 | H22 | H23 |     |
| 調理食数 | 食   | 目標 | 620 | 620 | 585 | 820 |     |
|      |     |    | 実績  | 645 |     |     | 620 |
|      |     |    | 目標  |     |     |     |     |
|      |     |    | 実績  |     |     |     |     |

| 成果指標 | 指標名   | 指標設定の考え方 | 単位 | 実績値 |     | 目標値 |     |
|------|-------|----------|----|-----|-----|-----|-----|
|      |       |          |    | H20 | H21 | H22 | H23 |
| 給食数  | 給食調理数 | 食        | 目標 | 620 | 620 | 585 | 820 |
|      |       |          | 実績 | 645 | 620 |     |     |
|      |       |          | 目標 |     |     |     |     |
|      |       |          | 実績 |     |     |     |     |

| 投入コスト        | H20 決算      |             | H21 決算      |             | H22 当初予算 |      | H23 当初要求 |  |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----------|------|----------|--|
|              | (千円)        | (千円)        | (千円)        | (千円)        | (千円)     | (千円) | (千円)     |  |
| 直接事業費計(A)    | 14,320      | 22,855      | 20,967      | 24,288      |          |      |          |  |
| Aの財源内訳       | 国庫支出金       |             |             |             |          |      |          |  |
|              | 県支出金        |             |             |             |          |      |          |  |
|              | 地方債         |             |             |             |          |      |          |  |
|              | その他         | 0           | 0           |             |          |      |          |  |
|              | 一般財源        | 14,320      | 22,855      | 20,967      | 24,288   |      |          |  |
| 事業投入人件費(B)   | 7.0人 50,400 | 7.0人 50,400 | 6.0人 43,200 | 8.0人 57,600 |          |      |          |  |
| フルコスト(A)+(B) | 64,720      | 73,255      | 64,167      | 81,888      |          |      |          |  |

**事務事業の評価(Check)**

| 判断の基準(該当項目に○をつけてください)                      |   | 備考欄(特記事項)  |
|--|---|--|
| 必要性  | 法律で実施が義務付けられている事業   | 法律では実施の義務付けはされていないが、条例により伊賀市の小中学校等の給食業務を一括処理するための給食センターの設置について規定されている。 |
|  | 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業  |  |
|  | 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業   |  |
|  | 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事務事業           |  |
|  | 個人のみでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業           |  |
| 有効性  | 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業 | 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】                                      |
|  | 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業                           |  |
|  | 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対称者以外の第3者にも利益が及ぶ事業                      |  |
|  | 国や県、民間が同様のサービスを提供している。  |  |
|  | 事業開始からの目標・目的を概ね達成している。  |  |
| 達成度  | 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない。  | 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】  |
|  | 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】   |  |
|  | 財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響は大きい。   |  |
|  | 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】   |  |
|  | 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。                                       |  |
| 効率性  | 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高                             | ○  |
|  | サービス水準や対象を見直す余地がある。   |  |
|  | 当初設定した計画を 100% 実施している。  |  |
|  | 予算の繰越の有無 無  |  |
|  | 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】  |  |
| 他  | 他の事業主体の活用、事業移管が可能である。   | ○  |
|  | 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。  |  |
|  | 【事業名】   |  |
|  | 受益者負担を求めることができる事業である。   |  |
|  | 全体コストにおける負担構成は適正である。  |  |
| コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。 |   |  |

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

|          |  |
|----------|--|
| 改善策      | 昭和58年の古い施設でウェット方式の施設であるが、衛生管理のため引き続きドライ運用につとめる。保育所の給食については本来福祉関係であるので健康福祉部と協議をする。                                    |
| 昨年度の取組状況 | 【状況】 <b>計画のとおり進んでいる</b><br>【詳細】 施設の利用は衛生管理に努め、維持管理を行っている。また、保育所の給食は現場及び阿山支所住民課の考えは自園方式で可能と考えておりますが、健康福祉部と協議をする必要がある。 |

**今後の方向性(Action)**

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 評価者氏名(担当課長)                  | 葛原吉彦  |
| 事業の方向性                       | 【方向性】 <b>現状維持</b><br>【理由】 伊賀市の小学校給食は自校方式が基本で、一日も早い実施が望まれる。しかし、阿山支所管内3つの小学校統廃合計画が進んでいないのが現状であり、当分の間は引き続き阿山給食センターにおいて継続実施する。なお、4つの保育所は自園方式が可能と思われるので、今後検討する余地がある。 |
| 現時点における課題、その他                | 阿山給食センターの建設は昭和58年11月に完成、今年で27年が経過しており大変老朽化している。また、給食センター方式を続けるにあたり、厨房機器修繕及び更新はもとより、職場環境の改善(労働安全衛生)が考えられる。   |
| 課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする) | 特に、屋上アスファルト防水に至っては劣化が著しく、厨房排気ダクト及びフード付近の雨漏りが発生しており衛生管理面からも早急に修繕が必要となるため平成23年度において屋根防水修繕工事を実施したい。  |